



長野市芸術館
NAGANO CITY ARTS CENTER



落語祭

長野市芸術館

開館10周年記念事業

三遊亭圓朝

柳家喬太郎

圓朝喬太郎 噺一夜

作家名/鈴木清方 作品名/三遊亭圓朝像
所蔵館名/東京国立近代美術館
Photo: MOMAT/DNPartcom

第一夜

2026 4/25 土 18:00開演
(17:30開場)

「死神」「文七元結」 柳家喬太郎

ゲスト: 春風亭昇太 *第一夜のみ出演

講 談: 一龍齋貞寿

落語講座

2026 4/26 日 16:00開演
(15:30開場)

演 題: 「圓朝すごい!」

落語評論の第一人者が
圓朝落語の魅力を解説

講 師: 長井好弘 (演芸評論家)

第二夜

2026 4/26 日 18:00開演
(17:30開場)

「錦の舞衣 発端」 一龍齋貞寿

「錦の舞衣 上・下」 柳家喬太郎

数多くの名作を世に送り出した
近代落語の祖、三遊亭圓朝。
古典から新作まで変幻自在、
現代落語の旗手、柳家喬太郎。
古今二人の名手が
120年の時空を超えて、
ここ長野で出逢う。

特別ゲスト
春風亭昇太

長野市芸術館
アクトスペース (3F)

第一夜 [4/25(土)]・第二夜 [4/26(日)]

各日 前売券4,000円 / 当日券4,500円
(全席指定・税込)

落語講座 [4/26(日)]

前売券1,000円 / 当日券1,300円
(全席指定・税込)

《落語講座のみの特典》
特製メモ帳(イラスト:柳家喬太郎)付

全公演セット券 [第一夜・落語講座・第二夜]

7,500円 (全席指定・税込)

※セット券は前売券のみ。

※前売券完売の場合は当日券の販売はございません。

チケット一般発売 2026年1月12日(月・祝) 10:00~

長野市芸術館チケットオンライン [インターネット予約] <https://www.nagano-arts.or.jp/>
長野市芸術館チケットセンター [窓口・電話] TEL.026-219-3191 [10:00~19:00 / 火曜定休]
ローソンチケット: <https://l-tike.com/> Lコード 34941 ※各日単日・前売券のみ取り扱い
e+ (イープラス): <https://eplus.jp> ※各日単日・前売券のみ取り扱い



チケットオンライン

●出演者・その他に変更が生じる場合がございます。●不可抗力による公演中止の場合を除き、本券の払い戻し、券種の変更、他公演との交換はいたしません。●未就学児のご入場はご遠慮いただきます。●車椅子席をご希望の方は、長野市芸術館チケットセンター (TEL: 026-219-3191 / 10:00~19:00火曜定休) へお問い合わせください。●駐車場(有料)には限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

主催 ■ 一般財団法人長野市文化芸術振興財団
共催 ■ 信濃毎日新聞社

SNSで
情報発信中



長野市芸術館 落語祭 喬太郎 圓朝噺二夜

創作、編集、洞察力～ どこか似ている二人



【作家名】錦木清方【作品名】三遊亭圓朝像【所蔵館名】東京国立近代美術館
Photo: MOMAT/DNPartcom.

古今東西、流派や一門などかわらず、腕に覚えのある噺家なら、三遊亭圓朝に心揺さぶられぬはずがない。

人並外れた創作力で連続物の人情噺を次々と世に問い、同時代の観客、噺家、研究者、各界名士を唸らせた。主要作品の速記本はベストセラーとなり、幾多の名人上手がその作品に挑んできた。

そして圓朝没後、百二十五年の歳月を経て、ここ長野の地で柳家喬太郎が二夜に渡って圓朝作品を演じる。

第一夜は、圓朝の一席物の代表作、「死神」と「文七元結」の二席を楽しめる。「死神」は死神退散の呪文やサゲの展開に、演者独自の工夫が可能という自由度を持つ。対照的に「文七元結」は完成度が高く、吉原の妓楼「佐野鎗」での女将と左官・長兵衛、吾妻橋上での文七と長兵衛という、名場面での登場人物の心情の掘り下げなど、物語そのものに関わる部分に、演者の力量が問われる力作である。

第二夜は、圓朝の独壇場である長編連続物から「錦の舞衣」をリレー口演でたっぷりとおペラでお馴染みの「トスカ」からの翻案だ。激情の女「トスカ」が、揺るがぬ思いを秘めた「お須賀」となり、愛と憎しみの人間ドラマが繰り広げられる。

並外れた創作力、高い編集能力、そして時代と人間への深い洞察。指折り数えれば、圓朝と喬太郎の共通点がいくつもあつた。百二十五年の時など乗り越えて、是非とも対面させてみたい二人である。

長井好弘（演芸評論家）

■出身地：東京都世田谷区出身

1989年（平成元年）柳家さん喬に入門 前座名「さん坊」。1993年（平成5年）二つ目昇進「喬太郎」に改名。2000年（平成12年）真打昇進。

■受賞歴

1995年（平成7年）ニッポン放送 第一回OWARAIゴールドラッシュ優勝。1998年（平成10年）NHK新人演芸大賞落語部門大賞受賞。2001年（平成13年）彩の国落語大賞「大賞」受賞。2005年（平成17年）平成16年度国立演芸場花形演芸大賞「大賞」受賞。2006年（平成18年）平成17年度芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。2006年（平成18年）平成17年度国立演芸場花形演芸大賞「大賞」受賞。2007年（平成19年）平成18年度国立演芸場花形演芸大賞「大賞」受賞。2025年（令和7年）令和6年度（第75回）芸術選奨大衆芸能部門「文部科学大臣賞」受賞。



柳家 喬太郎

やなぎや きょうたろう



春風亭 昇太

* 第一夜のみの出演

しゅんぷうてい しょうた

■出身地：静岡県清水市

■プロフィール

1982年（昭和57年）春風亭柳昇に入門 前座名「昇八（しょうはち）」。1986年（昭和61年）二つ目昇進「昇太」に改名。1992年（平成4年）真打昇進。2019年（令和元年）落語芸術協会 会長就任。

■受賞歴

1989年（平成元年）「NHK新人演芸コンクール」最優秀賞受賞。1998年（平成10年）「浅草芸能大賞」新人賞、金賞受賞。2000年（平成12年）国立演芸場花形演芸大賞「大賞」受賞。平成12年度 第55回文化庁芸術祭（演芸部門）大賞受賞。2020年（令和2年）文化庁長官表彰受賞。



一龍齋 貞寿

いちりゅうさい ていじゅ

■出身地：神奈川県横浜市

■プロフィール

2003年（平成15年）6月 一龍齋貞心に入門。2003年（平成15年）10月 講談協会前座。2008年（平成20年）10月 二つ目昇進。2017年（平成29年）4月 真打昇進。



長井 好弘

ながい よしひろ

1955年、東京・深川新大橋生まれ。ジャーナリスト、演芸評論家。都民寄席実行委員長。浅草芸能大賞専門審査員。「僕らは寄席で「お言葉」を見つけた」（東京から版）、「新宿末広亭のネタ帳」（アスペクト）、「落語家魂！爆笑派・柳家権太楼の了見」（編著、中央公論新社）など、大衆芸能、寄席演芸に関わる著書多数。好物は鰻の蒲焼き。